

世界を変えるための17の目標





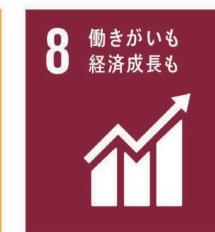
































持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)とは, 2001 年に 策定されたミレニアム開発目標(MDGs)別ウィンドウで開くの後継として、2015 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標 です。17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGs は発展途上国のみならず、先 進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り 組んでいます。

## 日本テックボール協会『SDGsの取り組み』



日本テックボール界を統括し代表する団体としてテックボールを通じて豊かなスポーツ文化 を創造し、子供たちの健全な育成と生涯スポーツ社会の実現。さらには競技力の向上を目指 すことで地域社会の活性化と健康で文化的な社会の構築に寄与することを目的とし、その目 的に資するため次の事業を行なう。



るスポーツです。国際競技連盟(IF)である、国際テックボール連盟(Fédération Internationale de Tegball、略称はFITEQ)による各国協会の評価基準の項目の一つとし て協会の理事・登録選手人数における男女比率の平等性を重要視しており、日本テックボー ル協会においてもジェンダー・イクオリティを重きを置いて活動しています。





大会(Asian Beach Games)においても正式競技として登録されていることなどからも、 海洋および沿岸に関するSDGsの実現は必須となっています。またジャパンビーチゲームズ への出場時などでは、砂浜の清掃活動などを積極的に行い、海洋汚染の防止や生態系の維 持回復に努めています。



IF(International Federation)である国際テックボール協会では、SDGsを最重要課題の 一つとして位置付け、SDGsハンドブックを策定するなど、すべての項目において世界各地

ローバルに連携し、SDGsの活動を活性化していきます。

(SDGsハンドブック https://cdn.buttercms.com/eYysuE4SREaLAX6igOOP)

で積極的な活動を行なっています。日本テックボール協会においてもIF並びに各国協会とグ